

天體觀測上より見たる神戸市の天氣實況

神戸市 改 發 香 嶋

豫て私は本誌の第118號及び第141號を以て當地に於ける天氣實況を委しく發表しました。其の後7年度、8年度の2ケ年間の實況も手記して居ましたが、大して面白い御参考になる様な材料もない様でしたから、今まで發表を見合せて居ました。併し最初から5ケ年の計畫であつたので、夫れが完成したから、遅れ走せながら、茲に其の結果の發表をして、最後のむすびをいたします。

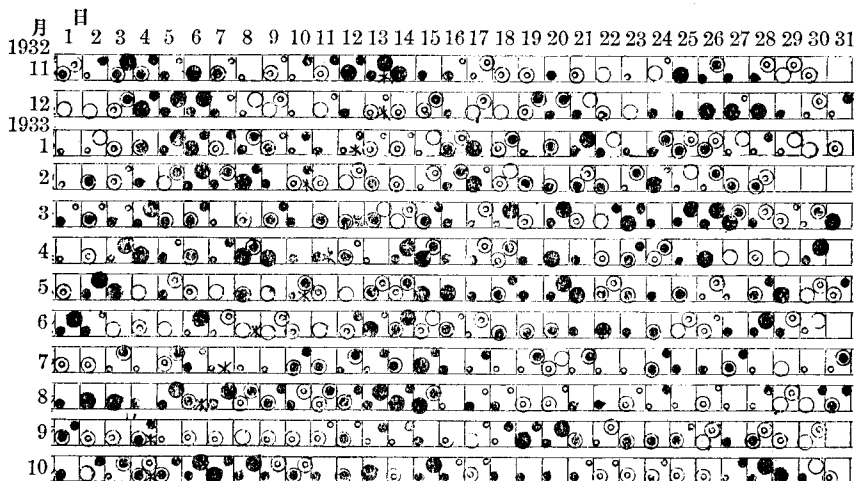
本文を初めて御覽下さる諸兄の爲めに、重複の嫌ひがありますが、符號を再記して置きます。

符號	*	満 月	
"	○	雲量 0	} 星 野 寫 真 可 能
"	⊙	" 2.5	
"	◦	" 5.0	
"	⊗	" 7.5	
"	●	" 10.0	} 太陽觀測 不 可 能
"	●	雨又は雪	

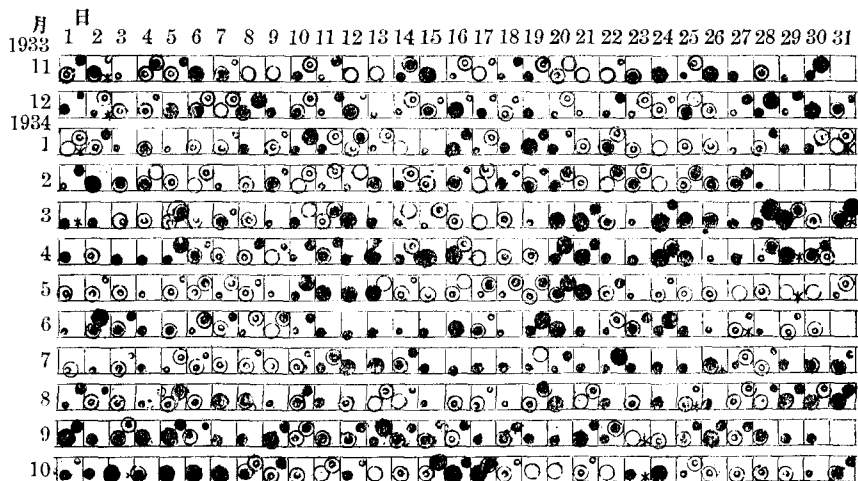
太陽觀測可能

星の觀測不能

1932年11月—1933年10月



1933年11月—1934年10月



観測可能日数を、夫々分類すると下表の結果になります。上表の2ヶ年の表は第4段、第5段になります。寫眞可能日数は満月の前後3ケ日間づゝ除いてあります。其の理由は本誌第118號を御覽下さい。

観測可能日数表

種 類	月 次		1929年	1930年	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	合計
	11月	12月	1月											
太陽觀測可能日數	19日	17日	24日	17日	16日	13日	20日	15日	23日	27日	20日	25日	237日	
星 觀 測 可能日數	11	15	22	10	13	11	21	14	17	18	18	22	192	
星野寫眞可能日數	6	9	10	6	6	6	11	7	12	13	9	12	107	

種 類	月 次		1930年	1931年										
	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	合計	
太陽觀測可能日數	23日	22日	15日	16日	24日	16日	23日	21日	9日	22日	22日	20日	233日	
星 觀 測 可能日數	19	22	17	13	15	9	18	13	3	13	15	19	176	
星野寫眞可能日數	10	15	9	8	10	3	9	4	0	6	8	11	93	

種 類	月 次		1931年	1932年	1933年	1934年	1935年	1936年	1937年	1938年	1939年	1940年	合計
	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	合計
太陽観測可能日数	23日	25日	26日	18日	23日	16日	19日	12日	24日	19日	12日	20日	237日
星 観 測 可能日数	20	16	15	12	17	12	16	10	18	8	7	16	167
星野寫眞可能日数	10	8	11	7	10	5	11	5	11	3	3	10	94

種 類 \ 月 次	1932年 11月	12月	1933年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	合計
太陽観測可能日数	18日	23日	23日	20日	18日	14日	20日	12日	26日	17日	26日	15日	241日
星観測可能日数	16	16	17	12	12	10	13	17	14	11	18	14	170
星野写真可能日数	9	9	9	6	5	6	7	8	4	3	9	6	81

種 類 \ 月 次	1933年 11月	12月	1934年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	合計
太陽観測可能日数	21日	24日	22日	24日	21日	14日	26日	19日	18日	27日	15日	20日	251日
星観測可能日数	18	21	21	19	16	11	21	11	14	18	5	18	193
星野写真可能日数	10	11	11	13	9	6	7	3	6	7	1	9	93

5ヶ年間の上表から、

太陽観測可能日数は 約240日 約66パーセント

星の観測可能日数は 約180日 約50パーセント

星野写真可能日数は 約94日 約26パーセント

となります。猶上表から試みに何の月が星の観測に恵まれて居るかを調べて見ると

年 \ 月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
1929年	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	11日	15日	日
1930年	22	10	13	11	21	14	17	18	18	22	19	22	192
1931年	17	13	15	9	18	13	3	13	15	19	20	16	176
1932年	15	12	17	12	16	10	18	8	7	16	16	16	167
1933年	17	12	12	10	13	17	14	11	18	14	18	21	170
1934年	21	19	16	11	21	11	14	18	5	18			193
合 計	92	66	73	53	89	65	66	68	63	89	84	90	898
百 分 率	59.3	47.1	47.1	35.3	57.4	43.3	42.5	43.8	42.0	57.4	56.0	58.0	49.3

上表の結果で見ますと、1月を最上とし12月が之れに次ぎ、4月を最悪とし、2月3月が之れに次ぐ事になります。人の心も長閑なる花の4月は天文愛好者に對しては誠に禁物の悪天候の時季であり、寒威最も厳しき1月の空が天文愛好者達に最も恵まれた好季節であるなどとは、天帝のいたづらも一寸過ぎる様であります。

太陽観測に於ては●印の日も時に観測可能の事は私の實際観測上にも現はれて居りますから（ほんの僅か雲の切れ間に観測）實際は71パーセントにな

ります。山陰地方の氣象狀態から 見ると 幾分當地方は 恵まれて 居る様ですが、三澤氏の誣訪に於ける、江州の木邊氏や、清水氏の静岡縣島田に於ける様に82パーセント以上の觀測は 逆も 不可能事です。況んや星の觀測に於ておやであります。

私の觀象地域が斯の如き悪い氣象に悩まさるゝ外に、都市に付きものゝ彩光電照に悩まさるゝ事の大きいものにも悲鳴を揚げます。併し斯る悪い條件を巧に避けつゝ觀測をやるのも又別な愉快さのあるものであります。

今こゝに愛妹が昨年六月頃觀測のつれづれに作りたる散文詩をかゝげて、ありし日を偲ぶことにする。(小槇孝二郎)

“ 寸 劇 ”

牧 星 子 (和枝)

視野の外を

おゝ ブリウの大流星！

稻妻の如 視線を移して見たが、

星々が 何事も無かつたやうにまたゝいてゐた。

黒々と しづまつてゐる蜜柑の木の上を

何のこと

お茶目の螢さんが

“これは失禮致しました”

と言ひ いひ 飛んで行く。

ひきしまつた緊張が消えて、

無邪氣な微笑が見送る。

大空の星達は 此の寸劇を拍子する様に、

チカチカとまたゝいてゐた。